

第1章 はじめに

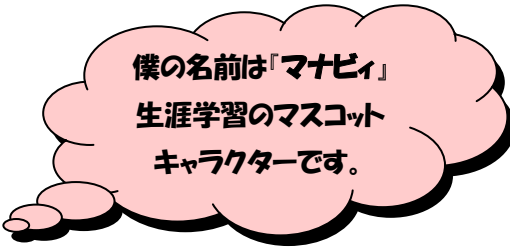
1 生涯学習とは

(1) 起源

現在各国で実践されている生涯学習は、以前「生涯教育」として知られていました。昭和40（1965）年にユネスコでポール・ラングランが初めて提唱したもので、この考え方が各国で徐々に成熟し、日本では、より学習する側にたった「生涯学習」という言葉になりました。人が生涯にわたり学び、学習の活動を継続して行うこと、と理解されています。

○ユネスコ 国連教育科学文化機関。

○ポール・ラングラン フランスの教育思想家。



僕の名前は「マナビィ」
生涯学習のマスコット
キャラクターです。



(2) 捉え方

【教育基本法では……】

平成18（2006）年12月の教育基本法全改正を機に、生涯学習の理念として初めて、教育基本法第3条に「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されました。

【一般的には……】

①自己充実・自己実現の手段としての生涯学習

課題を意識しないで自己満足しようとする自己充実と、自分で課題を設定してそれに向かって挑戦する自己実現の手段として、生涯学習が位置づけられます。自己充実や自己実現することで、生き甲斐を持ち、人生を豊かにすることにつながります。

②日常生活における生涯学習

生涯学習という言葉は知らなくても、昔からしていること、意識せず普段から何気なくしていることも生涯学習になり、日常生活に密着したものであるといえます。

③生涯学習の身近な例

生涯学習の身近な例としては、仕事の効率化や生産性の向上を図ること、趣味活動などのスキルアップを目指すこと、何かに興味を持って調べること等々があげられます。



④生涯学習の領域・分野

生涯学習は、学校教育、社会教育の中だけで行われるものでなく、日々のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動、福祉活動など生活のあらゆる場面で行われるものです。

⑤ライフ・ステージに応じた生涯学習

生涯学習は、可能なかぎり自己に適した手段及び方法を自ら選びながら、生涯を通じ行うものです。各人がそれぞれのライフ・ステージにおいて、必要なことを生涯にわたって学ぶことが大切です。また、生涯学習の機会は、いつでも、どこでも、だれにでも性別や年齢を問わず開かれていなければなりません。

○ライフ・ステージ 人間の一生における幼年期、児童期、青年期、壮年期、老年期などのそれぞれの段階。

⑥まちづくりの手段としての生涯学習

学んだことを活かすことができれば、それはかけがえのない大きな喜びとなります。そして「生涯学習」は単に個人の領域に留まることなく、広く地域づくり、まちづくりへの原動力となるものであり、まちづくりを進める上で、大きな意義をもつ営みといえます。「まちづくりは人づくり」であり、その「人」をつくるのが生涯学習であるという考えに基づいています



2 推進のねらい

現在、わたしたちの周りには、少子高齢化、介護、医療、環境問題など多岐にわたる課題が複雑化、多様化しています。これらの中には行政だけでは解決できない課題も多くあります。

地域においては、人と人とのつながりが希薄になり、コミュニティの崩壊が危惧されていましたが、平成23（2011）年3月11日の東日本大震災後、地域コミュニティの重要性が再認識されました。

活気ある地域社会を形成するためには、生涯学習を通して、市民一人一人が主役となり、行政や地域活動団体と一緒に考え、行動する協働のまちづくりを進めることが必要です。

そのため、本計画では、生涯学習を、市民一人一人の心豊かで幸せな人生や、豊かで活気ある地域社会にするためのまちづくりにつなげていくことをねらいとしています。



3 生涯学習の意義と必要性

(1) 心豊かで幸せな人生を送るために

現代社会において、生涯を通じて健康で生き甲斐のある人生を送ることは、大きなテーマのひとつになっています。

生涯学習は、たとえ最初は小さな楽しみや趣味から始まっても、やがて、暮らしに彩りと厚みを与え、充実した毎日を過ごすための大切な生き甲斐になる可能性を秘めています。

市民一人一人が、生涯にわたって楽しみや自己の向上のために学ぶことは、心豊かで幸せな人生を送るためにとても大切なことです。



(2) 豊かで活気ある地域社会のために

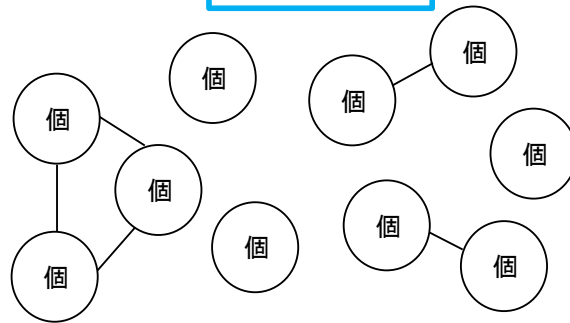
生涯学習は、個人の暮らしを豊かにするとともに、地域社会を豊かで活気あるものにするために大切な役割を果たします。

自分の趣味やスポーツ、レクリエーション活動などの、「個人のための生涯学習」が浸透することで、個人同士が学びと実践を通してつながるグループが生まれます。そして、グループ同士がさらにつながることで、ネットワークができ、結果的に個人で学んだことが周囲や地域に活かされる、「まちづくりのための生涯学習」へとつながっていきます。

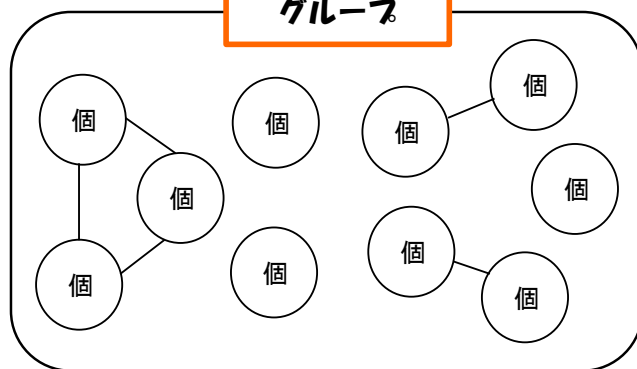


○生涯学習のまちづくりイメージ図

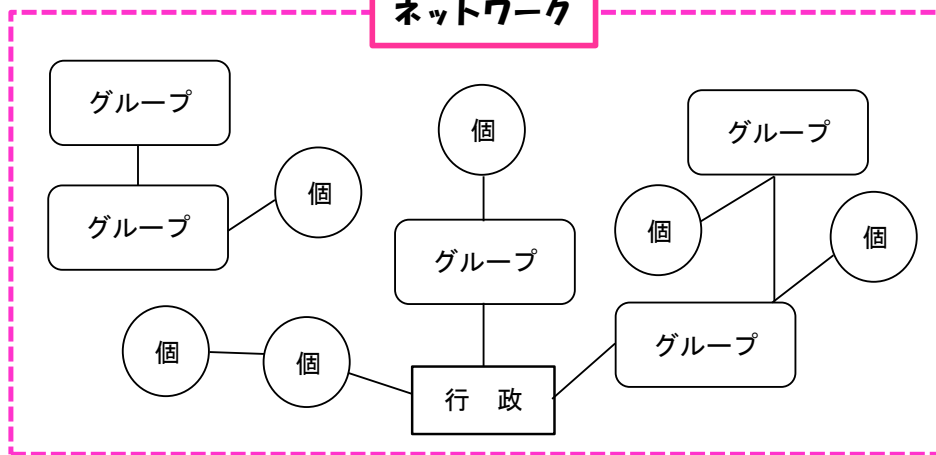
個人



グループ



ネットワーク



まちづくり



あずましいまち 黒石